

茨城県央地域定住自立圏共生ビジョン 地域公共交通部会の概要

日 時	令和元年8月23日(金) 午後1時30分から午後3時00分
場 所	茨城町消防庁舎1階多目的会議室
議 題	茨城県央地域定住自立圏(地域公共交通分野)第4回勉強会
内 容 (要 旨)	<p>(1) 茨城町の公共交通に関する取組について</p> <p>茨城町から、別添資料「茨城県央定住自立圏(地域公共交通分野)勉強会」のとおり、公共交通に関する茨城町の取組について説明があった。</p> <p>【主な質疑等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 現在運行している高齢者福祉タクシーは、デマンド交通を運行開始した後も続けていく予定か。(水戸市) <li style="padding-left: 2em;">⇒ 高齢者福祉タクシーは、利用者の約4割が町外利用をしている。一方、デマンド交通については、運行区域を町内のみとしている。このように、利用者の需要が異なるため、高齢者福祉タクシーは引き続き運行していく予定である。(茨城町) ・ デマンドタクシー運行に当たり、町内を運行するバス事業者から意見があったか。(水戸市) <li style="padding-left: 2em;">⇒ バス事業者は、開催した全ての交通会議に出席したが、意見はなかった。 <li style="padding-left: 4em;">茨城町は、今年度から地域公共交通会議が始まり、町内の公共交通について考えるという主題はあったが、今年度中にデマンドタクシーの運行を開始することが優先事項にあったため、その観点で進めてきた経過がある。これを機に、町内公共交通のあり方について考えているべきだと思っている。(茨城町) ・ デマンドタクシーの運行車両は2台だと不十分だと思う。今後台数を増やすことが課題となってくると思う。(茨城県) <p>(2) 茨城県からの報告事項について</p> <p>茨城県から、定住自立圏構成市町村の公共交通運行状況、県央地域における地域間幹線系統の生産性向上、都市間高速バスネットワーク強化事業の概要及び運行計画及びコミュニティ交通の他市町村への乗り入れ状況について説明があった。</p> <p>【主な質疑等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 那珂市はデマンドタクシー「ひまわりタクシー」を今年度4月から水戸

	<p>市に乗り入れを開始したが、利用状況はいかがか。(城里町)</p> <p>⇒ 4月から6月で、全利用者数に占める水戸市までの利用者数の割合は7～8%で推移している。(那珂市)</p> <p>(3) 那珂市デマンド交通「ひまわりタクシー」令和元年度利用状況について</p> <p>那珂市から、令和元年度のひまわりタクシー利用状況及び水戸市への乗り入れ状況について説明があった。</p> <p>【主な質疑等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 水戸市乗り入れに関する周知はどのようにしてきたか。(茨城県) ⇒ 今年の2～3月からひまわりタクシー車内でのチラシ配布、市ホームページでの掲載等をし、周知を行ってきた。(那珂市) ・ 水戸市に乗り入れを開始したことで、運行距離が伸びたと思うが、時間内に戻れない等、運行に係る課題はあるか。(茨城県) ⇒ 事前調査をしっかりと行い、検証してきたため、そのような課題はない。(那珂市) ・ 隣接自治体への乗り入れ等、今後の展開はどのようになっているか。(茨城県) ⇒ まだはっきりとはしていないが、ひたちなか市に乗り入れてはどうか、という意見もある。(那珂市) ・ 定住自立圏の事業は、特別交付税の措置が受けられるが、水戸市乗り入れに伴う経費については、当該措置を受けるか。(城里町) ⇒ 水戸市乗り入れに伴う増額分を1,400万円と算出している。その1,400万円に対し、2分の1を国の地方創生推進交付金を充当し、残り2分の1に特別交付税を充当する考えであった。結果的に地方創生推進交付金は充当されなかったとのことだが、700万円に特別交付税を充当する予定である。(水戸市)
<p>まとめ (決定事項等)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 次回の勉強会(11月開催予定)については、那珂市で開催することとなった。
<p>特記事項</p>	